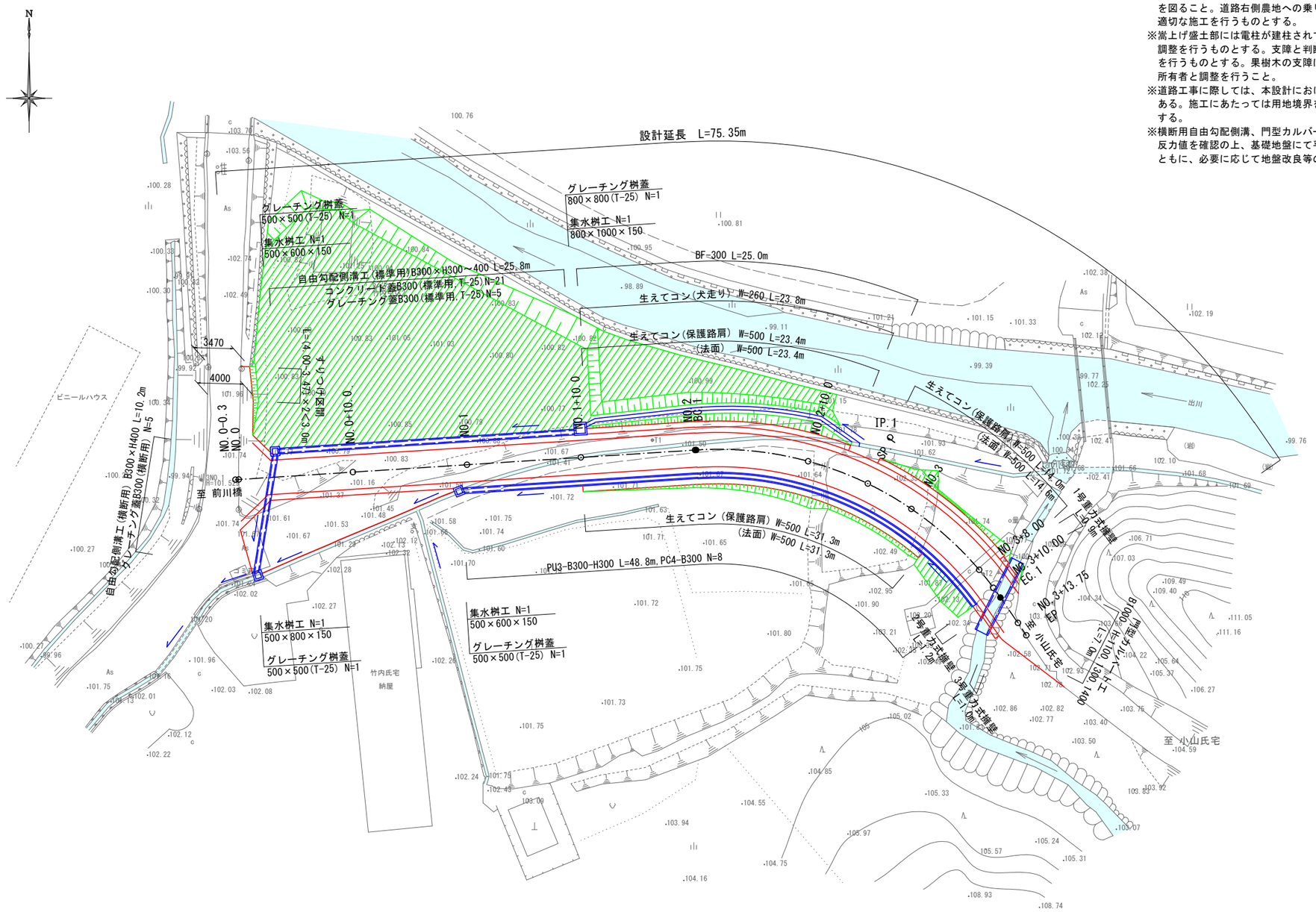
計画平面図

S=1:200(A1)

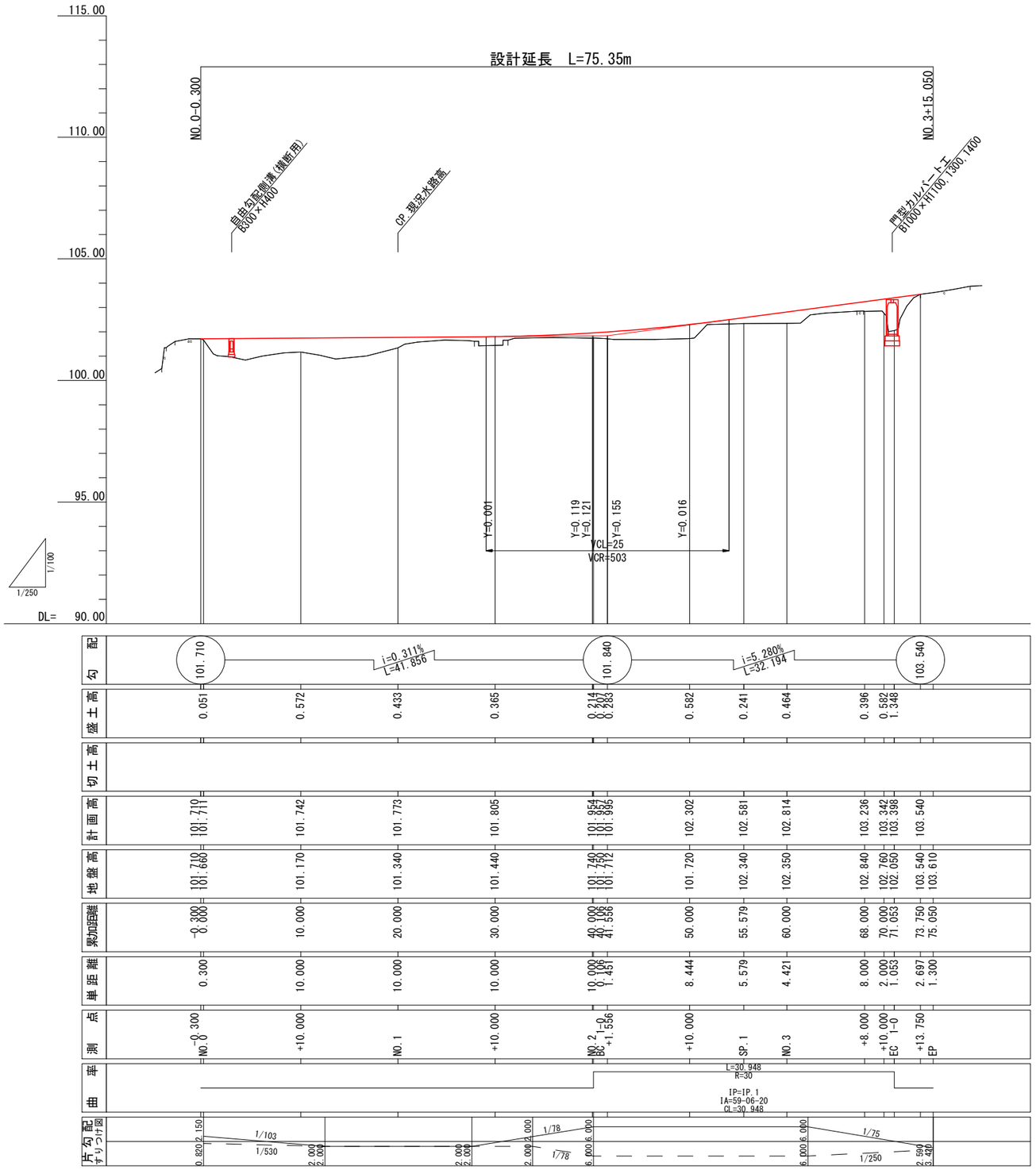
※本計画区間には輪島市上下水道局管理の配水管、送水管が埋設されており、道路築造に伴って配水管の付け替えが必要となる。管径、埋設位置、深さについては台帳からの推定により設計計上しているため、施工に際しては事前に試掘等を行うなどにより、本設計で示す配水管施工図の妥当性を確認し、必要に応じて見直しを行うものとする。
※上記、配水管付け替え及び農業用水路の付け替えに際しては、断水時期や期間等について事前に権利者と調整を図ること。また、起点付近左側の雑種地については嵩上げ盛土を行う計画となっているため、施工時期及び施工内容について事前に地権者と調整を図ること。道路右側農地への乗り入れ箇所、仕様については施工前に地権者と調整し、適切な施工を行うものとする。
※嵩上げ盛土部には電柱が建柱されているため、支障有無について事前に電柱管理者と調整を行うものとする。支障と判断された場合には、管理者と移設場所等の協議・調整を行うものとする。果樹木の支障については立木補償、伐木等の処置について事前に所有者と調整を行うこと。
※道路工事に際しては、本設計における巾杭をもとに用地測量、用地取得を行う必要がある。施工にあたっては用地境界を必ず確認し、境界を侵さないように留意するものとする。
※横断用自由勾配側溝、門型カルバート、重力式擁壁工については、本設計で示す地盤反力値を確認の上、基礎地盤にて平板載荷試験を実施し、必要地耐力の有無を確認するとともに、必要に応じて地盤改良等の適切な処置を図ること。



令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度 市道中12号線 道路整備工事
路 線 名	市道中12号線
箇 所	輪島市三井町中 地内
図 名	計画平面図
縮 尺	S=1:200(A1)
図 面 番 号	1 / 12 枚の内
輪 島 市	

縦断図

V=1:100, H=1:250(A1)



令和 8 年度	
工事名	令和8年度 市道中12号線 道路整備工事
路線名	市道中12号線
箇所	輪島市三井町中 地内
図名	縦断図
縮尺	V=1:100, H=1:250(A1)
図面番号	2 / 12 枚の内
輪島市	

標準断面図

S=1:50(A1)

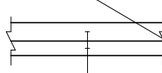
耐水処理部舗装構成

S=1:25

表層工	密粒度アスコン (13)	t= 3cm
路盤工	再生砕石 (RC-40)	t=10cm

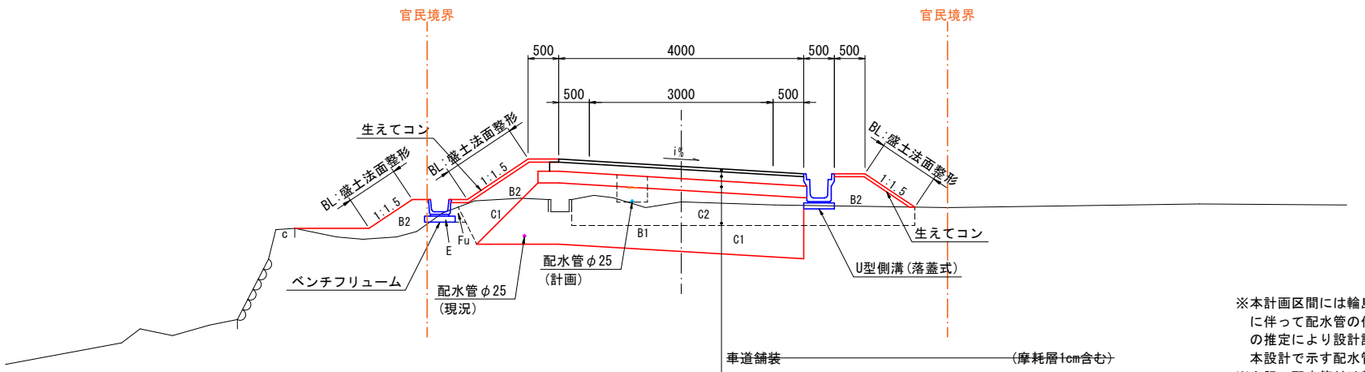
取付道路部舗装構成

S=1:25



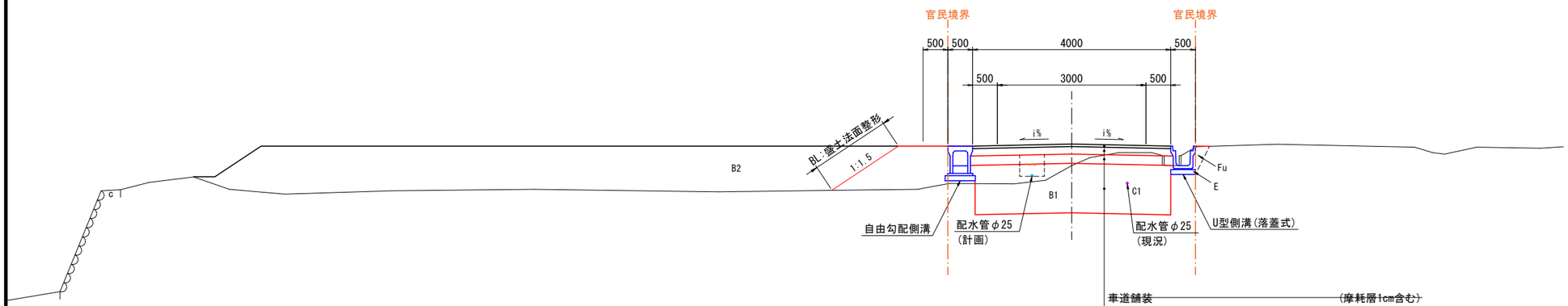
表層工	コンクリート(21-8-40B・B W/C≦65%)	t=15cm
路盤紙または乳剤(PK-3:散布量1.2L/㎡)		
路盤工	再生砕石 (RC-40)	t=12cm

土羽部



車道舗装		(摩耗層1cm含む)
表　層　工:密粒度ｱｽｺﾝ(20F)	t=5+1(摩耗層)=6cm	W1
上層路盤工:粒度調整砕石(M-40)	t=15cm	W2
下層路盤工:再生砕石(RC-40)	t=19cm	W3
路床盛土	t=100cm	B1

側溝部



車道舗装		(摩耗層1cm含む)
表　層　工:密粒度ｱｽｺﾝ(20F)	t=5+1(摩耗層)=6cm	W1
上層路盤工:粒度調整砕石(M-40)	t=15cm	W2
下層路盤工:再生砕石(RC-40)	t=19cm	W3
路床盛土	t=100cm	B1

■設計条件

道路区分	第3種第5級
設計速度	V=30 km/h
交通区分	N3(L)交通
設計CBR	3%(推定)

■凡例

C1	掘　削
C2	表土掘削
E	床　掘
Fu	埋　戻
B1	路床盛土
B2	路体盛土
BL	盛土法面整形
W1	車道舗装　表　層　工
W2	車道舗装　上層路盤工
W3	車道舗装　下層路盤工

※本計画区間には輪島市上下水道局管理の配水管、送水管が埋設されており、道路築造に伴って配水管の付け替えが必要となる。管径、埋設位置、深さについては台帳からの推定により設計計上しているため、施工に際しては事前に試掘等を行うなどにより、本設計で示す配水管施工図の妥当性を確認し、必要に応じて見直しを行うものとする。

※上記、配水管付け替え及び農業用水路の付け替えに際しては、断水時期や期間等について事前に権利者と調整を図ること。また、起点付近左側の雑種地については嵩上げ盛土を行う計画となっているため、施工時期及び施工内容について事前に地権者と調整を図ること。道路右側農地への乗り入れ箇所、仕様については施工前に地権者と調整し、適切な施工を行うものとする。

※嵩上げ盛土部には電柱が建柱されているため、支障有無について事前に電柱管理者と調整を行うものとする。支障と判断された場合には、管理者と移設場所等の協議・調整を行うものとする。果樹木の支障については立木補償、伐木等の処置について事前に所有者と調整を行うこと。

※道路工事に際しては、本設計における巾杭をもとに用地測量、用地取得を行う必要がある。施工にあたっては用地境界を必ず確認し、境界を侵さないように留意するものとする。

※横断用自由勾配側溝、門型カルバート、重力式擁壁工については、本設計で示す地盤反力値を確認の上、基礎地盤にて平板載荷試験を実施し、必要地耐力の有無を確認するとともに、必要に応じて地盤改良等の適切な処置を図ること。

※舗装構成は設計CBR3%で推定しているため、施工時にはCBR試験等により舗装構成の妥当性を確認、検証するものとする。

凡 例

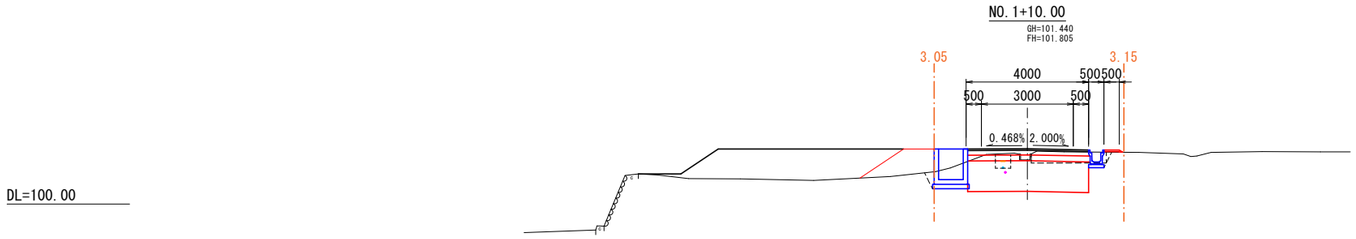
- (現況)配水管
- (計画)配水管

令和　8　年度	
工　事　名	令和8年度　市道中12号線　道路整備工事
路　線　名	市道中12号線
箇　　所	輪島市三井町中　地内
図　　名	標準断面図
縮　　尺	図示
図 面 番 号	3 / 12 枚の内
輪　　島　　市	

横断図(1)

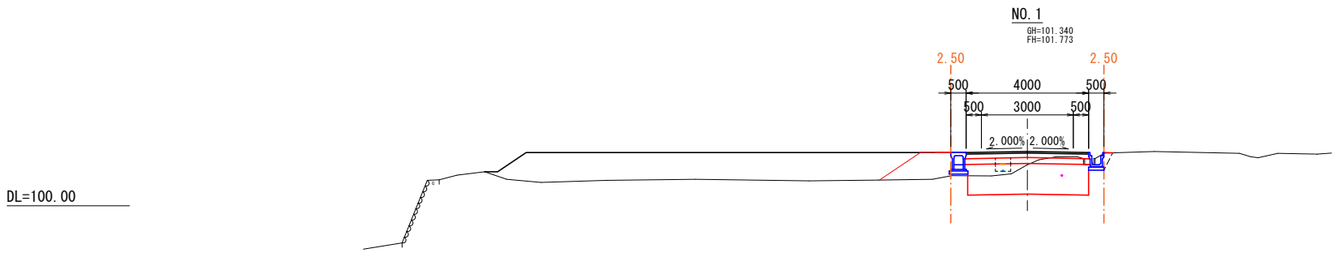
S=1:100(A1)

※本計画区間には輪島市上下水道局管理の配水管、送水管が埋設されており、道路築造に伴って配水管の付け替えが必要となる。管径、埋設位置、深さについては台帳からの推定により設計計上しているため、施工に際しては事前に試掘等を行うなどにより、本設計で示す配水管施工図の妥当性を確認し、必要に応じて見直しを行うものとする。
※上記、配水管付け替え及び農業用水路の付け替えに際しては、断水時期や期間等について事前に権利者と調整を図ること。また、起点付近左側の雑種地については嵩上げ盛土を行う計画となっているため、施工時期及び施工内容について事前に地権者と調整を図ること。道路右側農地への乗り入れ箇所、仕様については施工前に地権者と調整し、適切な施工を行うものとする。
※嵩上げ盛土部には電柱が建柱されているため、支障有無について事前に電柱管理者と調整を行うものとする。支障と判断された場合には、管理者と移設場所等の協議・調整を行うものとする。果樹木の支障については立木補償、伐木等の処置について事前に所有者と調整を行うこと。
※道路工事に際しては、本設計における巾杭をもとに用地測量、用地取得を行う必要がある。施工にあたっては用地境界を必ず確認し、境界を侵さないように留意するものとする。
※舗装構成は設計CBR3%で推定しているため、施工時にはCBR試験等により舗装構成の妥当性を確認、検証するものとする。



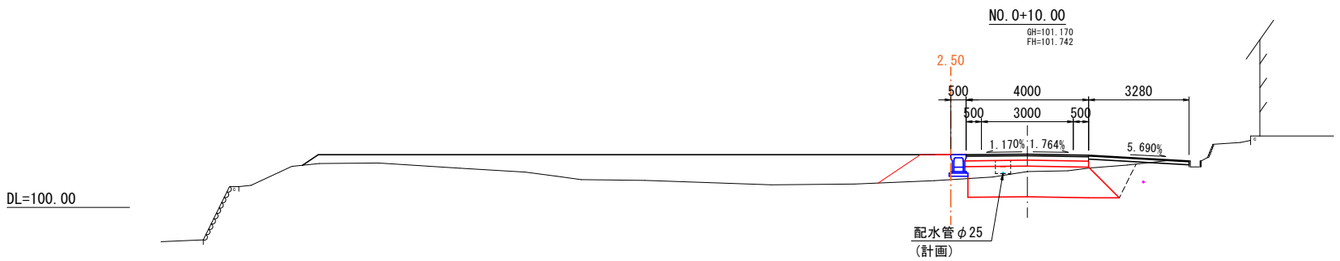
NO.1+10.00 数量表

記 号	数 量	記 号	数 量
C1	4.2	W1	4.00
C2	0.9	W2	4.09
E	1.0	W3	4.10
Fu	0.2		
B1	3.9		
B2	1.5		
BL	1.71		



NO.1 数量表

記 号	数 量	記 号	数 量
C1	3.6	W1	4.00
C2	–	W2	4.09
E	0.2	W3	4.10
Fu	0.1		
B1	4.0		
B2	1.5		
BL	1.64		



NO.0+10.00 数量表

記 号	数 量	記 号	数 量
C1	4.5	W1	4.00
C2	–	W2	4.05
E	–	W3	4.05
Fu	0.8		
B1	4.5		
B2	1.9		
BL	1.67		

■凡例

C1	掘　削
C2	表土掘削
E	床　掘
Fu	埋　戻
B1	路床盛土
B2	路体盛土
BL	盛土法面整形
W1	車道舗装　表　層　工
W2	車道舗装　上層路盤工
W3	車道舗装　下層路盤工

NO.0 数量表

記 号	数 量	記 号	数 量
C1	5.1	W1	8.09
C2	–	W2	4.29
E	–	W3	4.29
Fu	–		
B1	3.7		
B2	–		
BL	–		

凡 例

- (現況)配水管
- (計画)配水管

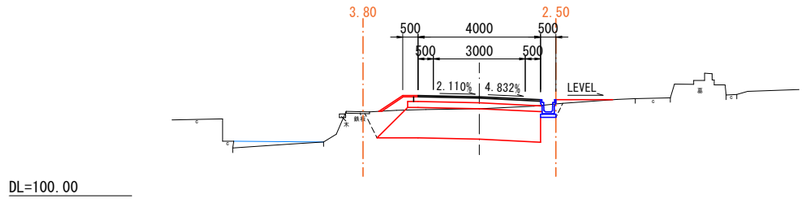
令和　8　年度	
工　事　名	令和8年度　市道中12号線　道路整備工事
路　線　名	市道中12号線
箇　　所	輪島市三井町中　地内
図　　名	横断図(1)
縮　　尺	S=1:100(A1)
図 面 番 号	4 / 12　枚の内
輪　　島　　市	

横断図(2)

S=1:100(A1)

NO.3+8.00

GH=102.840
FH=103.236

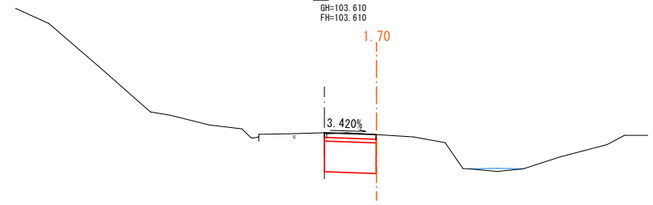


NO.3+8.00　数量表

記　号	数　量	記　号	数　量
C1	5.5	W1	4.00
C2	–	W2	4.20
E	0.3	W3	4.39
Fu	0.6		
B1	4.8		
B2	0.4		
BL	0.94		

EP

GH=103.610
FH=103.610

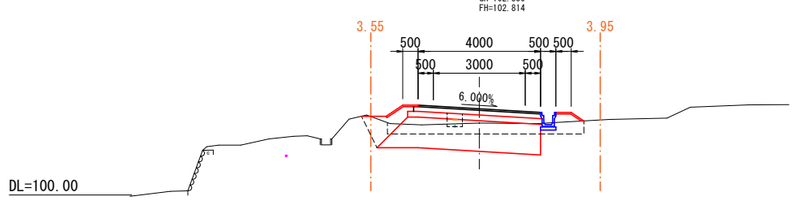


EP　数量表　※舗装は舗装求積図で計上

記　号	数　量	記　号	数　量
C1	2.2	W1	–
C2	–	W2	–
E	–	W3	–
Fu	–		
B1	1.7		
B2	–		
BL	–		

NO.3

GH=102.350
FH=102.814

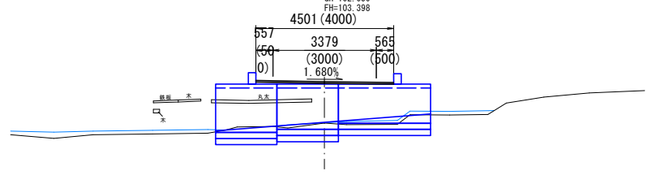


NO.3　数量表

記　号	数　量	記　号	数　量
C1	3.3	W1	4.00
C2	2.2	W2	4.20
E	–	W3	4.39
Fu	0.5		
B1	4.8		
B2	1.1		
BL	1.15		

EC.1(河川)

GH=102.050
FH=103.398

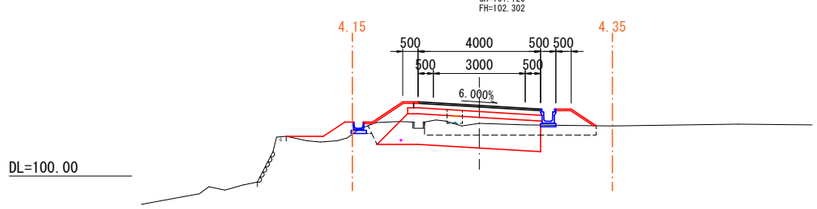


EC.1　数量表

記　号	数　量	記　号	数　量
C1	–	W1	4.00(4.50)
C2	–	W2	–
E	–	W3	–
Fu	–		
B1	–		
B2	–		
BL	–		

NO.2+10.00

GH=101.720
FH=102.302

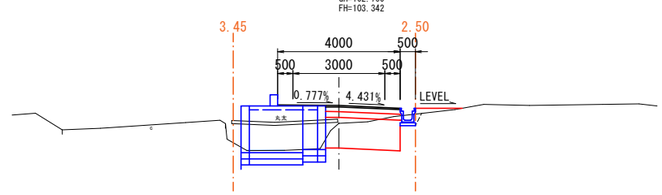


NO.2+10.00　数量表

記　号	数　量	記　号	数　量
C1	2.8	W1	4.00
C2	2.0	W2	4.20
E	0.1	W3	4.39
Fu	0.1		
B1	4.8		
B2	2.2		
BL	3.02		

NO.3+10.00

GH=102.760
FH=103.342

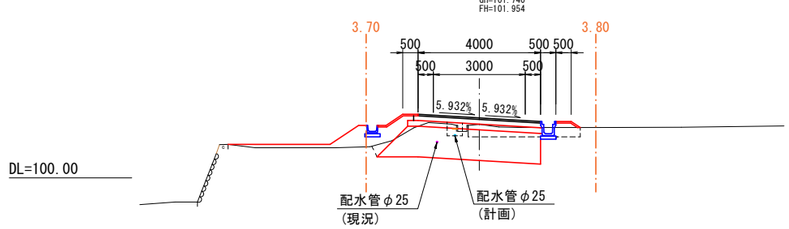


NO.3+10.00　数量表

記　号	数　量	記　号	数　量
C1	2.1	W1	4.00
C2	–	W2	2.43
E	0.2	W3	2.48
Fu	0.1		
B1	2.4		
B2	0.2		
BL	–		

NO.2

GH=101.740
FH=101.954



NO.2　数量表

記　号	数　量	記　号	数　量
C1	4.6	W1	4.00
C2	1.2	W2	4.20
E	0.1	W3	4.39
Fu	–		
B1	4.8		
B2	2.0		
BL	2.12		

※本計画区間には輪島市上下水道局管理の配水管、送水管が埋設されており、道路築造に伴って配水管の付け替えが必要となる。管径、埋設位置、深さについては台帳からの推定により設計計上しているため、施工に際しては事前に試掘等を行うなどにより、本設計で示す配水管施工図の妥当性を確認し、必要に応じて見直しを行うものとする。
※上記、配水管付け替え及び農業用水路の付け替えに際しては、断水時期や期間等について事前に権利者と調整を図ること。また、起点付近左側の雑種地については嵩上げ盛土を行う計画となっているため、施工時期及び施工内容について事前に地権者と調整を図ること。道路右側農地への乗り入れ箇所、仕様については施工前に地権者と調整し、適切な施工を行うものとする。
※嵩上げ盛土部には電柱が建柱されているため、支障有無について事前に電柱管理者と調整を行うものとする。支障と判断された場合には、管理者と移設場所等の協議・調整を行うものとする。果樹木の支障については立木補償、伐木等の処置について事前に所有者と調整を行うこと。
※道路工事に際しては、本設計における巾杭をもとに用地測量、用地取得を行う必要がある。施工にあたっては用地境界を必ず確認し、境界を侵さないように留意するものとする。
※舗装構成は設計CBR3%で推定しているため、施工時にはCBR試験等により舗装構成の妥当性を確認、検証するものとする。

■凡例

C1	掘　削
C2	表土掘削
E	床　掘
Fu	埋　戻
B1	路床盛土
B2	路体盛土
BL	盛土法面整形
W1	車道舗装　表　層　工
W2	車道舗装　上層路盤工
W3	車道舗装　下層路盤工

凡 例

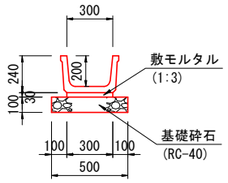
- (現況)配水管
- (計画)配水管

令和　8　年度	
工　事　名	令和8年度　市道中12号線　道路整備工事
路　線　名	市道中12号線
箇　　所	輪島市三井町中　地内
図　　名	横断図(2)
縮　　尺	S=1:100(A1)
図面番号	5 / 12　枚の内
輪　　島　　市	

小構造物詳細図(1)

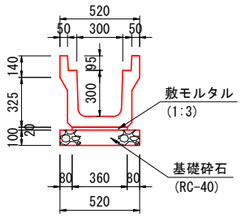
BF-300

S=1:20(A1)



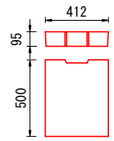
PU3-B300-H300

S=1:20(A1)



PC4-B300

S=1:20(A1)



BF-300 数量表 (10m当り)

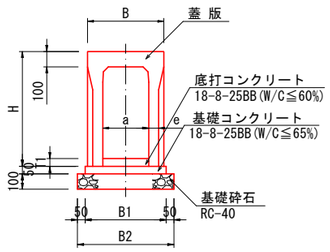
種 別	規 格	単位	数 量	備 考
製品個数	BF300	本	5.0	参考重量 140kg/個
敷モルタル	1:3	m3	0.09	
基礎砕石	RC-40,t=100	m2	5.0	

PU3-B300-H300 数量表 (10m当り)

種 別	規 格	単位	数 量	備 考
製品個数	B300×H300	本	5.0	L=2.00m/本
敷モルタル	1:3	m3	0.07	
基礎砕石	RC-40,t=100	m2	5.2	

自由勾配側溝工(標準用)300型

S=1:20(A1)

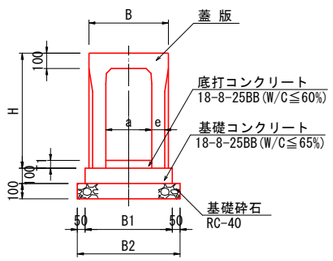


標準用
寸法表および数量表 (10m当り)

記号	B	B1	B2	H	a	e	W	基礎砕石	基礎コンクリート	底打コンクリート	型 枠	製 品
								RC-40 t=100	18-8-25B・B W/C≦65%	18-8-25B・B W/C≦60%		L2000
	mm	mm	mm	mm	mm	mm	kg/個	m2	m3	m3	m2	個
B300×H300	500	500	600	450	300	50	336	6.00	0.25	別途計上	1.00	5.0
×H400	500	510	610	550	300	55	403	6.10	0.26	別途計上	1.00	5.0

自由勾配側溝工(横断用)300型

S=1:20(A1)

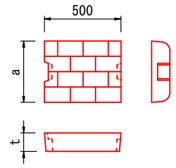


横断用
寸法表および数量表 (10m当り)

記号	B	B1	B2	H	a	e	W	基礎砕石	基礎コンクリート	底打コンクリート	型 枠	底版反力	製 品
								RC-40 t=100	18-8-25B・B W/C≦65%	18-8-25B・B W/C≦60%			L2000
	mm	mm	mm	mm	mm	mm	kg/個	m2	m3	m3	m2	kN/m2	個
B300×H400	520	570	670	550	300	85	541	6.70	0.57	別途計上	2.00	80.419	5.0

コンクリート蓋 (標準用、T-25)

S=1:20(A1)

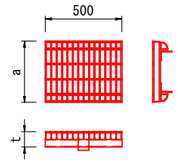


標準用
コンクリート蓋(T-25) 寸法表及び数量表

呼び名	参考重量	寸 法 (mm)	
	(kg)	a	t
300用	43	400	100

グレーチング蓋 (標準用、T-25)

S=1:20(A1)

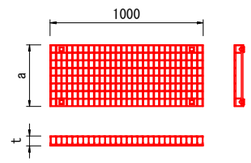


標準用
グレーチング蓋(T-25) 寸法表及び数量表

呼び名	参考重量	寸 法 (mm)	
	(kg)	a	t
300用	18	400	100

グレーチング蓋 (横断用、T-25)

S=1:20(A1)



横断用
グレーチング蓋(T-25) 寸法表及び数量表

呼び名	参考重量	寸 法 (mm)	
	(kg)	a	t
300用	34	400	100

※ 設計図で示すプレキャスト二次製品の諸寸法等はあくまでも参考値である。施工時には、設計図で示す製品と同等品以上を用いることとするが、製作メーカーによっては細部寸法に若干の相違があるため、設計図との相違がある場合には誤差の影響を確認のうえ、適切に対処すること。

※ 横断用自由勾配側溝については、本設計で示す地盤反力値を確認の上、基礎地盤にて平板載荷試験を実施し、必要地耐力の有無を確認するとともに、必要に応じて地盤改良等の適切な処置を図ること。

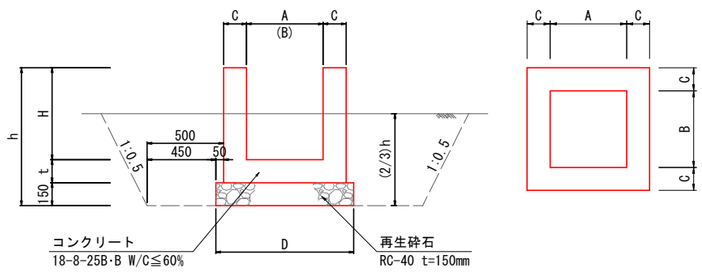
令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度 市道中12号線 道路整備工事
路 線 名	市道中12号線
箇 所	輪島市三井町中 地内
図 名	小構造物詳細図(1)
縮 尺	図示
図面番号	6 / 12 枚の内
輪 島 市	

小構造物詳細図(2)

集水桝

S=1:20(A1)

断面図　　平面図



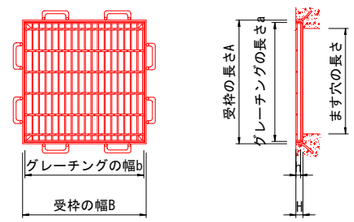
集水桝 寸法表及び数量表　　(1基当り)

名称	寸法 (mm) A	B	C	D	H	t	h	数量 床掘 (m3)	埋戻 (m3)	再生砕石 RC-40 t=15cm(m2)	型枠 (m2)	コンクリート 18-8-25B・B W/C≦60% (m3)	床均 (m2)	掘削深さ (m)
500× 600×150	500	500	150	900	600	150	900	2.664	2.254	0.81	3.90	0.301	0.810	0.60
500× 800×150	600	600	150	900	800	150	1100	3.777	3.157	1.00	5.70	0.439	1.00	0.73
800×1000×150	800	800	150	1200	1000	150	1300	5.646	4.559	1.44	8.74	0.632	1.440	0.87

※ 積算基準書より

グレーチング桝蓋 (T-25)

S=1:20(A1)

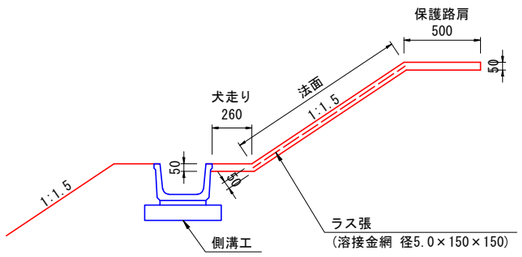


グレーチング蓋(T-25) 寸法表及び数量表　　(100枚当り)

ます穴寸法 幅×長さ (mm)	グレーチング T-25 寸法 (mm) b×a×h	重量 (kg)	受枠 寸法 (mm) B×A×H	重量 (kg)	総重量 (kg)	数量
500×500	607× 607× 65	32.0	630× 630× 71	14.6	46.6	100 枚
800×800	890× 900× 90	92.8	920× 920× 96	25.1	117.9	100 枚

生えてコン

S=1:20(A1)



生えてコン 数量表　　10m当り

名称	細別	単位	数量	適用
生えてコン(保護路肩)	W=500	m2	5.0	
生えてコン(法面)	W=500 (0～1000)	m2	5.0	ラス張 W=500(0～1000)
生えてコン(犬走り)	W=260	m2	2.6	

注：上記数量は標準寸法の数量を示す。
伸縮目地は、5～10mに1本を目安として設置する。
切土法面には、水抜き孔を標準として2～4㎡に1個以上を設置する。

※ 設計図で示すプレキャスト二次製品の諸寸法等はあくまでも参考値である。
施工時には、設計図で示す製品と同等品以上を用いることとするが、製作メーカーによっては細部寸法に若干の相違があるため、設計図との相違がある場合には誤差の影響を確認のうえ、適切に対処すること。

令和 8 年度	
工事名	令和8年度 市道中12号線 道路整備工事
路線名	市道中12号線
箇所	輪島市三井町中 地内
図名	小構造物詳細図(2)
縮尺	図示
図面番号	7/12 枚の内
輪島市	

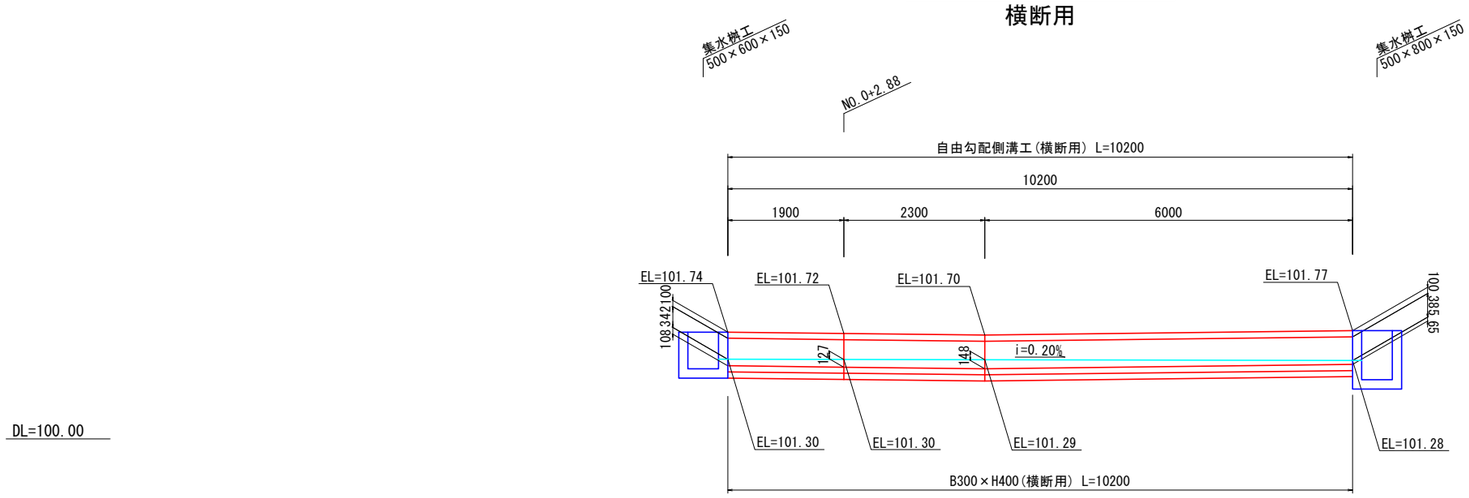
自由勾配側溝工展開図

SH=1:50, SV=1:50

自由勾配側溝工展開図
標準用

底打コンクリート
V=(0.108+0.145)/2×6.26+(0.145+0.154)/2×10.74+(0.050+0.050)/2×8.83
=2.84 m3

自由勾配側溝工展開図
横断用



底打コンクリート
V=(0.108+0.127)/2×1.90+(0.127+0.148)/2×2.30+(0.148+0.065)/2×6.00
=1.18 m3

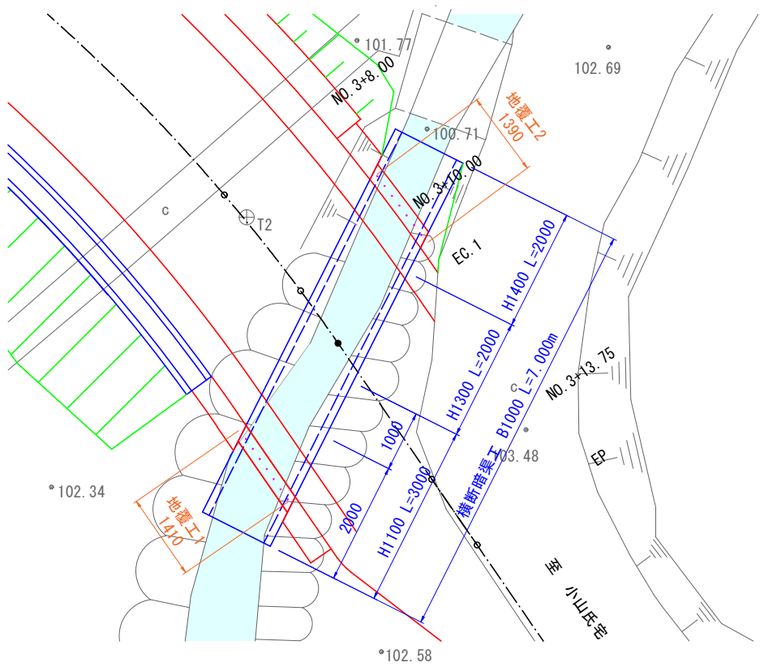
※横断用自由勾配側溝については、本設計で示す地盤反力値を確認の上、
基礎地盤にて平板載荷試験を実施し、必要地耐力の有無を確認するとともに、
必要に応じて地盤改良等の適切な処置を図ること。

令和 8 年度	
工事名	令和8年度 市道中12号線 道路整備工事
路線名	市道中12号線
箇所	輪島市三井町中 地内
図名	自由勾配側溝工展開図
縮尺	SH=1:50, SV=1:50
図面番号	8/12 枚の内
輪島市	

横断暗渠工詳細図

平面図

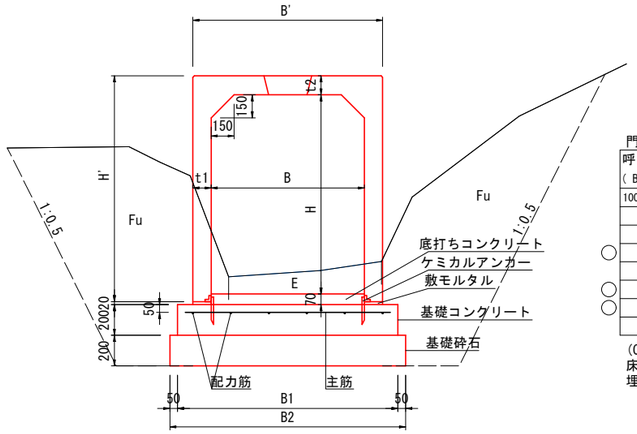
S=1:50(A1)



門型カルバート 標準断面図

B1000

S=1:20(A1)



門型カルバート 寸法表および数量表 (10m当り)

呼び名 (B×H)	寸法 (mm) B'	H'	t1	t2	B1	B2	参考重量 (kg)	基礎砕石 (m2)	基礎コンクリート (m3)	底打コンクリート (m3)	敷モルタル (m3)	型枠 (m2)	鉄筋	径(mm)	数	重量(Kg)	ケミカルアンカー	製品 (本)
1000× 800	1240	975	120	125	1440	1540	1800	15.4	2.88	0.70	0.05	4.0	主筋	D13	50	66.70	D10~20本	5.0
× 900		1075					1920											
×1000		1175					2030											
×1100		1275					2150											
×1200		1375					2260											
×1300		1475					2380						配力筋	D10	6	33.60		
×1400		1575					2490											
×1500		1675					2610											

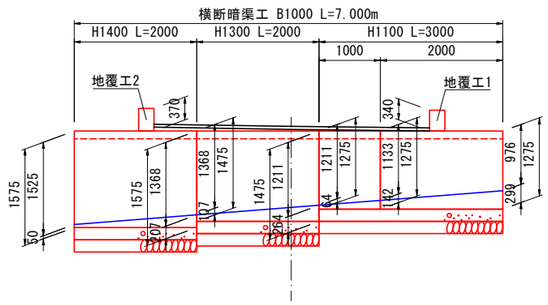
(CADにより算出)
床掘E ：V=3.2×7.0=22.4m2
埋戻Fu：V=2.3×7.0=16.1m2

地覆工 詳細図

地覆工 1

側面図

S=1:50(A1)

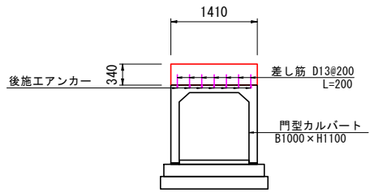


必要地盤反力

呼び名 (B×H)	必要地盤反力
B1000×H1100	70.2
B1000×H1300	72.0
B1000×H1400	73.0

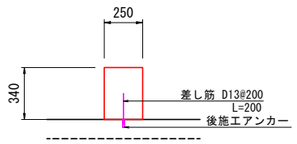
正面図

S=1:50(A1)



断面図

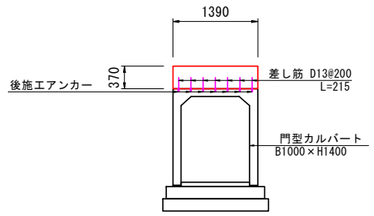
S=1:20(A1)



地覆工2

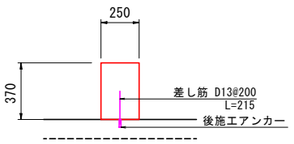
正面図

S=1:50(A1)



断面図

S=1:20(A1)



地覆工1 数量表 1箇所あたり

種別	規格	計算式	数量	単位	備考
コンクリート	18-8-25BB,W/C≦60%	0.250×0.340×1.41	0.120	m3	
型枠		(0.250×0.340+1.41×0.340)×2	1.129	m2	
差し筋	SD345 D13	0.200×0.995×7=1.393	1.393	kg	

地覆工2 数量表 1箇所あたり

種別	規格	計算式	数量	単位	備考
コンクリート	18-8-25BB,W/C≦60%	0.250×0.370×1.39	0.129	m3	
型枠		(0.250×0.370+1.39×0.370)×2	1.214	m2	
差し筋	SD345 D13	0.215×0.995×7=1.50	1.50	kg	

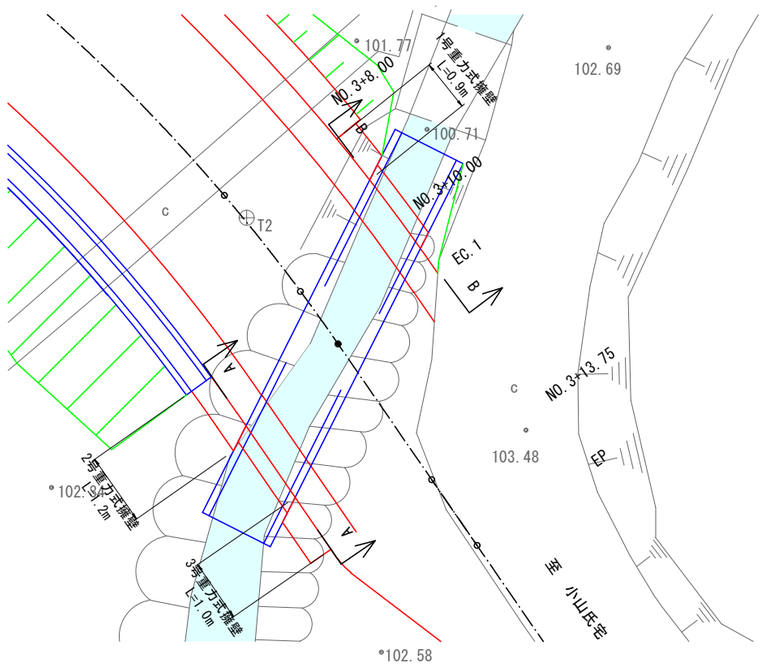
※製品発注前に現地にて寸法を測量し割付図を作成するとともに、製作段階で差し筋部に後施工アンカーを設置すること。
※横断用自由勾配側溝、門型カルバート、重力式擁壁工については、本設計で示す地盤反力値を確認の上、基礎地盤にて平板載荷試験を実施し、必要地耐力の有無を確認するとともに、必要に応じて地盤改良等の適切な処置を図ること。

令和 8 年度	
工事名	令和8年度 市道中12号線 道路整備工事
路線名	市道中12号線
箇所	輪島市三井町中 地内
図名	横断暗渠工詳細図
縮尺	図示
図面番号	9/12 枚の内
輪島市	

重力式擁壁工構造図

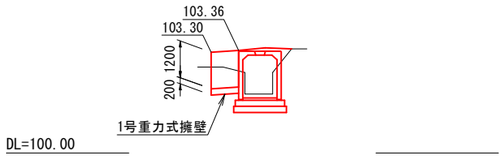
平面図

S=1:50(A1)



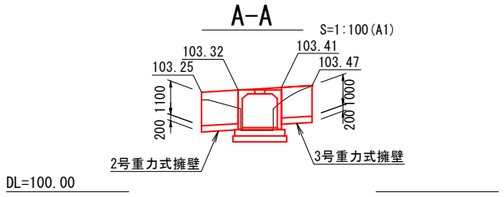
B-B

S=1:100(A1)



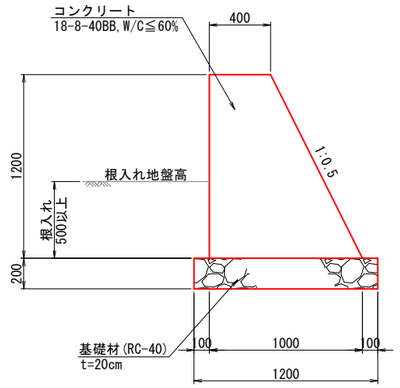
A-A

S=1:100(A1)



1号重力式擁壁

S=1:20(A1)



設 計 条 件 表	
擁壁形式	重力式擁壁［GW15］
荷重条件	10kN/m2
地盤反力	92kN/m2
裏 込 土	砂質土（φ=30° γ=19kN/m3）

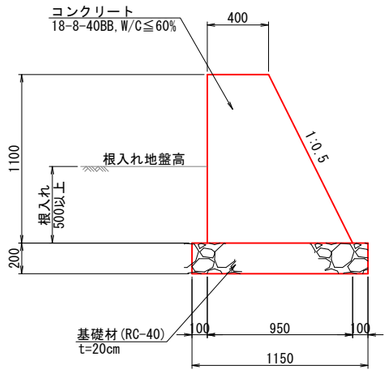
1号重力式擁壁工 数量表 (1式当り)

種 別	規 格	単位	数 量	備 考
コンクリート	18-8-40BB,W/C≦60%	m3	0.76	V=(0.40+1.00)/2×1.20×0.90
型 枠		m2	3.97	A=(1.20+1.20×1.118)×0.90+(0.40+1.00)/2×1.20×2
基 礎 材	RC-40,t=20cm	m2	1.1	A=1.20×0.90

※ 必要地盤反力度:92kN/m2

2号重力式擁壁

S=1:20(A1)



設 計 条 件 表	
擁壁形式	重力式擁壁［GW15］
荷重条件	10kN/m2
地盤反力	92kN/m2
裏 込 土	砂質土（φ=30° γ=19kN/m3）

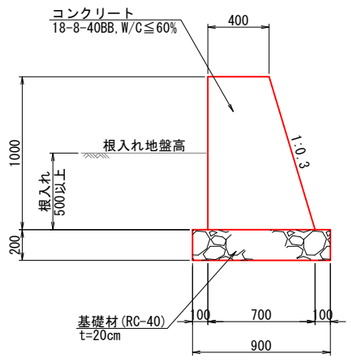
2号重力式擁壁工 数量表 (1式当り)

種 別	規 格	単位	数 量	備 考
コンクリート	18-8-40BB,W/C≦60%	m3	0.89	V=(0.40+0.95)/2×1.10×1.20
型 枠		m2	4.3	A=(1.10+1.10×1.118)×1.20+(0.40+0.95)/2×1.10×2
基 礎 材	RC-40,t=20cm	m2	1.4	A=1.15×1.20

※ 必要地盤反力度:92kN/m2

3号重力式擁壁

S=1:20(A1)



設 計 条 件 表	
擁壁形式	重力式擁壁［GW2］
荷重条件	10kN/m2
地盤反力	48kN/m2
裏 込 土	砂質土（φ=30° γ=19kN/m3）

3号重力式擁壁工 数量表 (1式当り)

種 別	規 格	単位	数 量	備 考
コンクリート	18-8-40BB,W/C≦60%	m3	0.55	V=(0.40+0.70)/2×1.00×1.00
型 枠		m2	3.1	A=(1.00+1.00×1.044)×1.00+(0.40+0.70)/2×1.00×2
基 礎 材	RC-40,t=20cm	m2	0.9	A=0.90×1.00

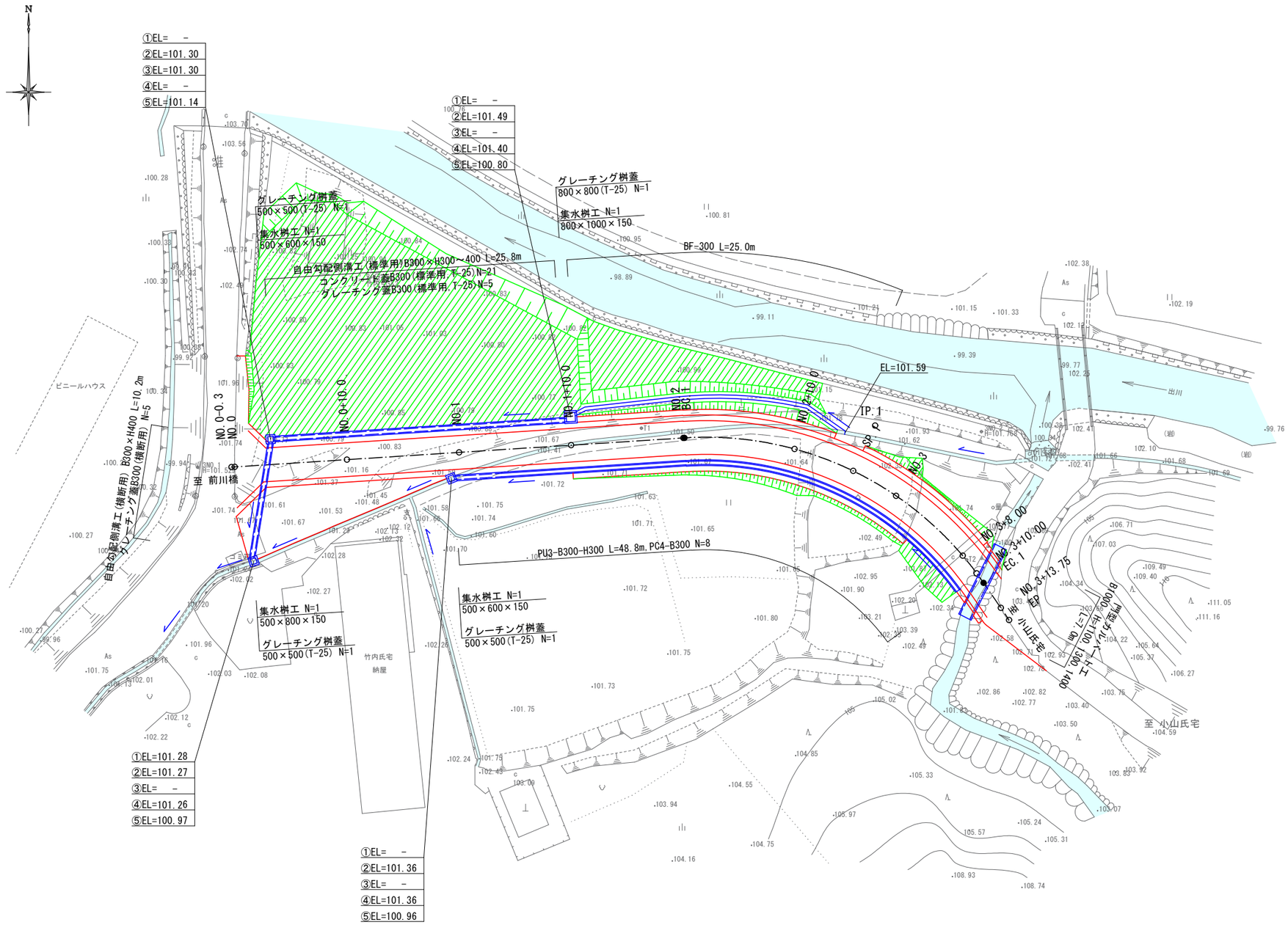
※ 必要地盤反力度:48kN/m2

※横断用自由勾配側溝、門型カルバート、重力式擁壁工については、本設計で示す地盤反力値を確認の上、基礎地盤にて平板載荷試験を実施し、必要地耐力の有無を確認するとともに、必要に応じて地盤改良等の適切な処置を図ること。

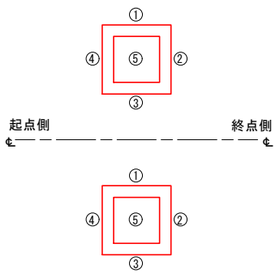
令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度 市道中12号線 道路整備工事
路 線 名	市道中12号線
箇 所	輪島市三井町中 地内
図 名	重力式擁壁工構造図
縮 尺	図示
図 面 番 号	10／12 枚の内
輪 島 市	

排水系統図

S=1:200(A1)



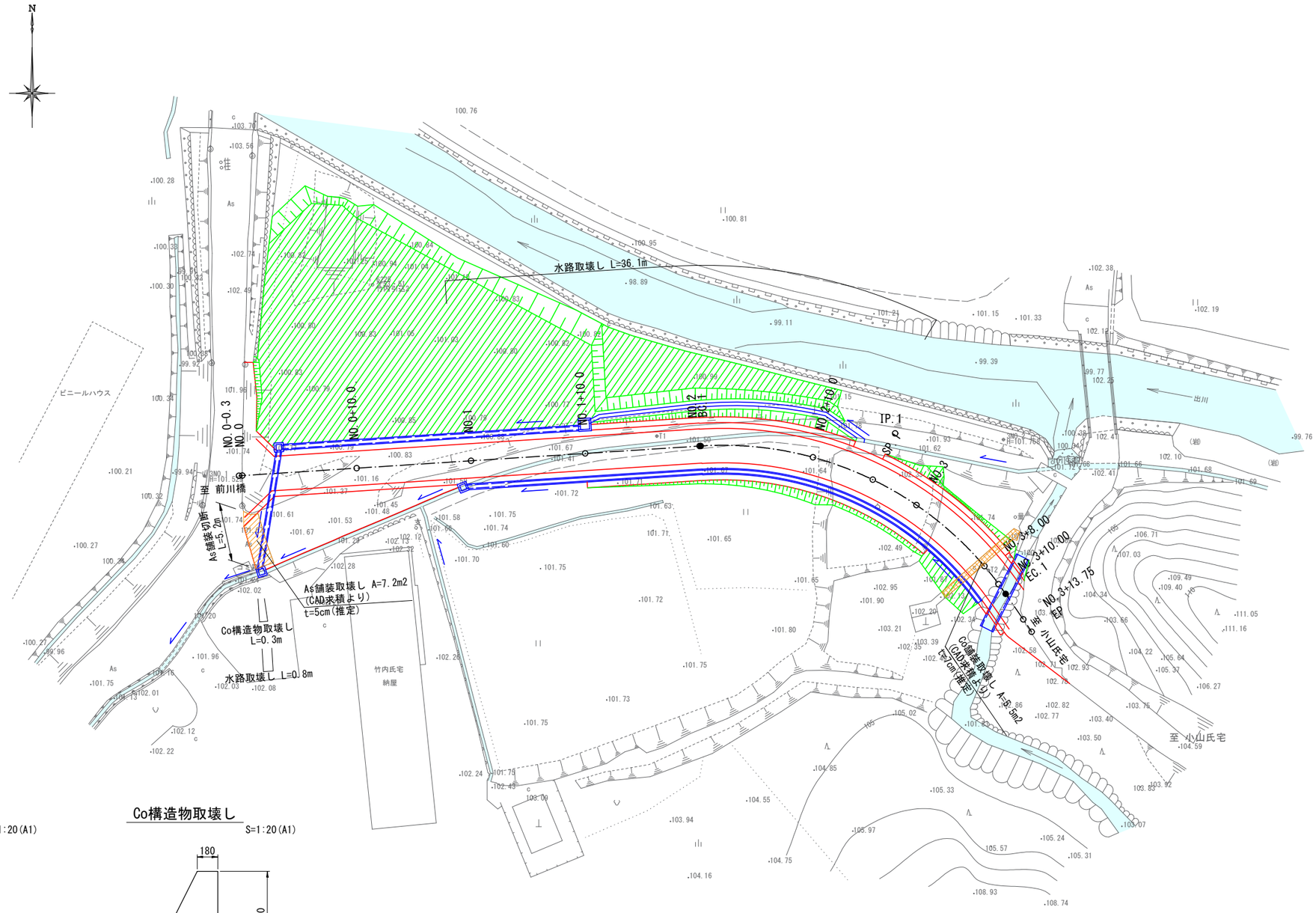
凡 例



令和 8 年度	
工 事 名	令和8年度 市道中12号線 道路整備工事
路 線 名	市道中12号線
箇 所	輪島市三井町中 地内
図 名	排水系統図
縮 尺	S=1:200(A1)
図面番号	11 / 12 枚の内
輪 島 市	

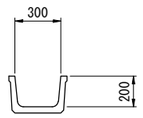
取壊し平面図

S=1:200(A1)



水路取壊し

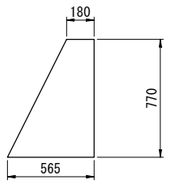
S=1:20(A1)



水路取壊し　1m当り数量（鉄筋）
V=0.03m3
（CADにより算出）

Co構造物取壊し

S=1:20(A1)



Co構造物取壊し　1m当り数量（無筋）
V=(0.180+0.565)×0.770/2=0.29m3

凡 例

- As舗装取壊し
- Co舗装取壊し

令和　8　年度	
工　事　名	令和8年度　市道中12号線　道路整備工事
路　線　名	市道中12号線
箇　　所	輪島市三井町中　地内
図　　名	取壊し平面図
縮　　尺	図示
図 面 番 号	12／12　枚の内
輪　　島　　市	